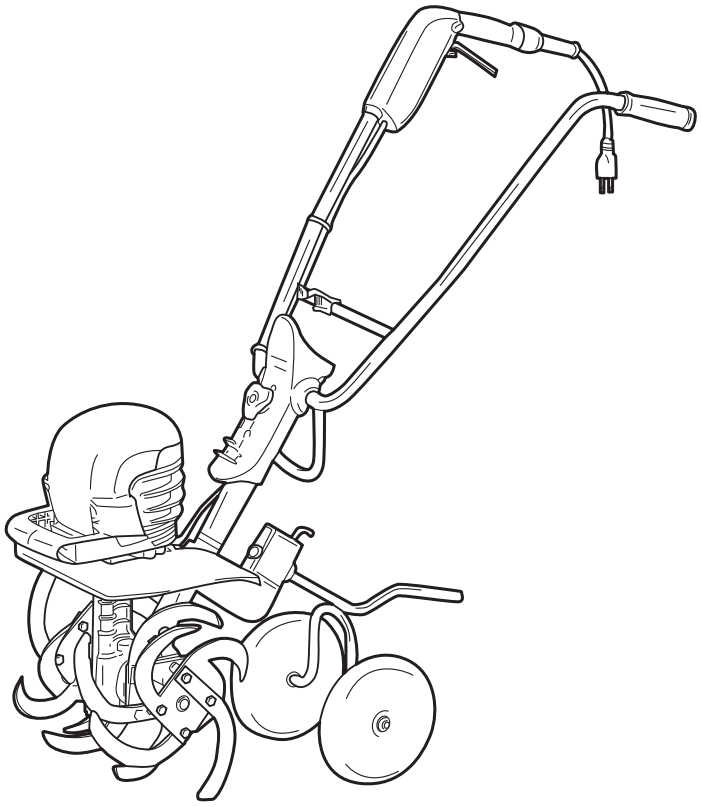
RYOBI

保証書付

取扱説明書
電気カルチベータ
ACV-1500

回 二重絶縁



このたびは、電気カルチベータをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意…… 1
二重絶縁について…… 6
騒音について…… 6
電気カルチベータを …… 7
　安全にお使いいただくために
ラベル表示について …… 12

各部の名称…… 13
仕様…… 14
付属品…… 14
用途…… 14
別販売品…… 15

ご使用前の準備…… 16
　作業場に関して
　漏電しゃ断器設置のおすすめ
　延長コードについて
抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し … 17
ハンドル …… 18
電源コードの接続 …… 18
　巻込み防止ガイドを使用しない場合
　巻込み防止ガイドを使用する場合
ご使用前の点検…… 20

スイッチの扱い方 …… 21
過負荷保護装置について…… 22
耕うん作業 …… 22
　電源コンセントに近い方から
　基本的な作業
　抵抗棒の使用
　巻込み防止ガイドの使用

培土けん引車輪…… 25
中耕車輪…… 25
スパイラルロータ …… 26
培土器…… 27

なた爪の取付け、取外し …… 28
ギヤオイルの交換…… 30
運搬…… 31
各部取付けネジの点検…… 32
使用後の手入れ…… 32
なた爪の手入れ…… 32
作業後の保管…… 32
修理について…… 32
カーボンブラシについて …… 33
故障かなと思ったら…… 34
保証書…… 裏表紙

6986525

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警　告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠ 注　意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
「⚠警告」・「⚠注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は､必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	感電注意	回転部注意	

⚠ 警　告

作業場の環境について

必ず守る

作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

禁止

子供を近づけないでください。
・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。
・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。

必ず守る

・作業場は十分に明るくしてください。

禁止

・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

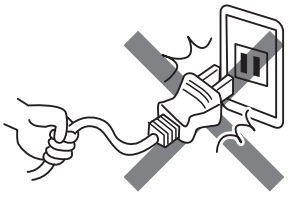
電気に関する安全事項

感電注意

感電に注意してください。
・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

禁止

コードを乱暴に扱わないでください。
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。



・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

必ず守る

屋外使用に合った延長コードを使用してください。
・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

個人的な警告事項

必ず守る

不意な始動は避けてください。

・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

必ず守る

禁止

油断しないで十分注意して作業を行なってください。

・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
・常識を働かせてください。
・疲れている場合は、使用しないでください。

禁止

必ず守る

きちんとした服装で作業してください。

・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

必ず守る

保護めがねを使用してください。

・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

必ず守る

防音保護具を着用してください。

・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

⚠ 警　告

個人的な警告事項

必ず守る

無理して使用しないでください。
・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

禁止

作業に合った電動工具を使用してください。
・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
・指定された用途以外に使用しないでください。

必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

必ず守る

使用しない場合は、きちんと保管してください。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

必ず守る

調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

必ず守る

損傷した部品がないか点検してください。
・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

よく読む

・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

安全上のご注意

⚠ 警　告

個人的な警告事項

禁止

・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

必ず守る

・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
〈異常・故障例〉
・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
・電源コードに深いキズや変形がある。
・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
・焦げくさい臭いがする。
・ビリビリと電気を感じる。
・スイッチを入れても動かない　等
すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

必ず守る

加工するものをしっかりと固定してください。
・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

工具の使用と手入れ

電源プラグを抜く

次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・使用しない、または修理する場合。
・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。

必ず守る

電動工具は、注意深く手入れをしてください。
・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

よく読む

・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

⚠ 警　告

工具の使用と手入れ

点検・確認

・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

必ず守る

・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

修理とメンテナンス

禁止

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

分解禁止

電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

必ず守る

・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつけください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる２つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

電気カルチベータを安全に

電気カルチベータご使用に際して

●先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、電気カルチベータをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

作業の前に

必ず守る

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

点検・確認

各部のネジにゆるみがないか、損傷箇所がないか点検してください。
・けがの原因になります。

必ず守る

作業には、次の服装、保護具を着用してください。
・すそじまりのよい長そで、長ズボン。
・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽。
・足元保護のための安全靴。
・保護めがねまたはフェイスガード。
・耳栓、イヤマフなどの防音保護具。
・防振性の高い手袋。

禁止

必ず守る

次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。
・子供には使わせないでください。
・妊娠中の人は使用しないでください。
・疲れているとき、病気のとき、酔っているときは使用しないでください。
・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
・機械の知識のない人や、他の人に機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を他の人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。

禁止

必ず守る

なた爪（回転部）は指定のもの以外は使用しないでください。
事故やけがの原因になります。
・なた爪や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・交換時には、必ず指定の純正部品を使用してください。
・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷のあるなた爪は、新品に交換してください。
・なた爪は、確実に取付けられているか点検してください。

お使いいただくために

⚠ 警　告

作業の前に

必ず守る

なた爪（回転部）の取付け、交換の際には、爪先にウエスなどを巻付け、手袋を着用してください。
・誤って手が滑り、なた爪でけがをしたり、高温になったギヤケースでやけどをするおそれがあります。

点検・確認

小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。
・なた爪（回転部）に当たり、飛散して作業者や周囲の人がけがをする原因になります。

点検・確認

作業場に電線管、水道管やガス管などがないことを確かめてください。
・電線管、水道管やガス管などがあるとなた爪（回転部）が触れ、感電や漏電、ガス漏れの原因になります。

必ず守る

作業場への出入り、畦道の横断の際は、足元に注意し運搬してください。
・転倒し、けがの原因になります。

安全作業のために

禁止

強風、雨のとき、および夜間は使用しないでください。
・安全な作業ができないため、けがの原因になります。

必ず守る

モーターが作動しているときは非常に危険ですので、絶対になた爪（回転部）に手足や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。

回転部注意

スイッチを入れると同時になた爪（回転部）が回転します。
安全を十分に確かめてから始動してください。
・スイッチを入れるときは、なた爪の近くに立たないでください。
・周囲に人、動物、障害物がないか十分確認してください。
・しっかり機械を保持してください。

禁止

スイッチを固定して使用しないでください。
・とっさのときに停止することができず、けがの原因になります。

電気カルチベータを安全に

安全作業のために

⚠ 警　告

必ず守る

無理な姿勢で作業をしないでください。けがの原因になります。
・作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
・作業は腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。
・傾斜地の作業は滑りやすいので、足元に十分注意してください。

必ず守る

作業はゆとりを持って行なってください。より安全に作業していただくためです。
・取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して、慎重に作業してください。

必ず守る

連続作業は疲労による事故の原因になります。
・1回の作業時間は20分以内とし、10～20分休憩してください。

作業は連続3日を限度として、

1回の連続作業時間：	20分以内	1週の作業日数：	5日以内
1日の作業時間：	2時間以内	1月の作業時間：	40時間以内

必ず守る

作業中は、進行方向に人や動物などがいないことを確認してください。なた爪（回転部）が当たり、けがの原因になります。
・これらが接近したときには、直ちにスイッチを放し、なた爪の回転を止めてください。

必ず守る

なた爪（回転部）が延長コードの上を通ったり、延長コードがなた爪（回転部）に巻付いたりしないようにしてください。延長コードが破損、切断され、感電のおそれがあります。
・延長コードは作業が終わった所をはわせてください。
・万一、延長コードを切断した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、新しいコードと交換してください。

電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したままにしていると、けがの原因になります。
・作業を中止したり、移動するとき。
・作業中に機械から離れるとき。
・付属品を交換するとき。
・使用しない、または点検や整備、修理をするとき。
・機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
・その他危険が予想されるとき。

お使いいただくために

⚠ 警　告

安全作業のために

回転部注意

なた爪（回転部）に草などが巻付いたときには、必ず電源プラグを抜いた後、なた爪（回転部）の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
・草などを取除いたはずみで不意になた爪が回転し、けがの原因になります。

回転部注意

作業中、なた爪（回転部）を石や硬いものに当てないようにしてください。なた爪（回転部）が破損し、破片が飛散して、けがの原因になります。
・当たった場合は、必ずスイッチを切り電源プラグを抜いた後、なた爪の回転が停止したことを確認してから、なた爪に異常がないか確認してください。
・小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。

点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、なた爪（回転部）や本体に亀裂、変形などがないか確認してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

禁止

水中での使用は、絶対にしないでください。
・故障や感電の原因になります。

必ず守る

点検、整備をする場合は、本機が冷えるのを待って、作業してください。
・ギヤケースなど高温になる部分があり、やけどをするおそれがあります。

必ず守る

なた爪の点検、交換の際には、必ず電源プラグを抜いた後、なた爪の回転が停止したことを確認してから行なってください。

電気カルチベータを安全にお使いいただくために

⚠ 注　意

安全作業のために

よく読む

なた爪や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。

必ず守る

使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・感電のおそれがあります。

ラベル表示について

■警告ラベルについて

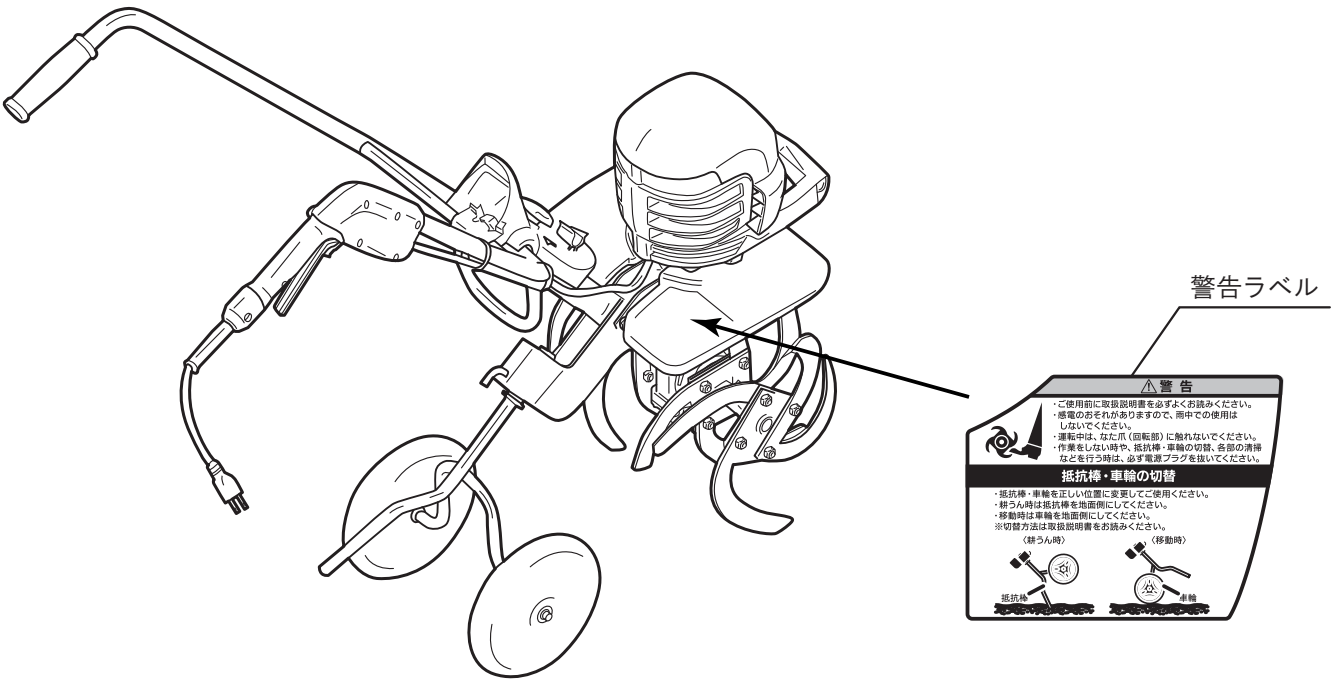
本機の下図の位置に警告ラベルを表示しています。
この警告ラベルの意味を十分ご理解のうえで使用してください。

なた爪（回転部）が回転しているときは、
手や足などを近づけないこと。

（警告ラベルの取扱い）

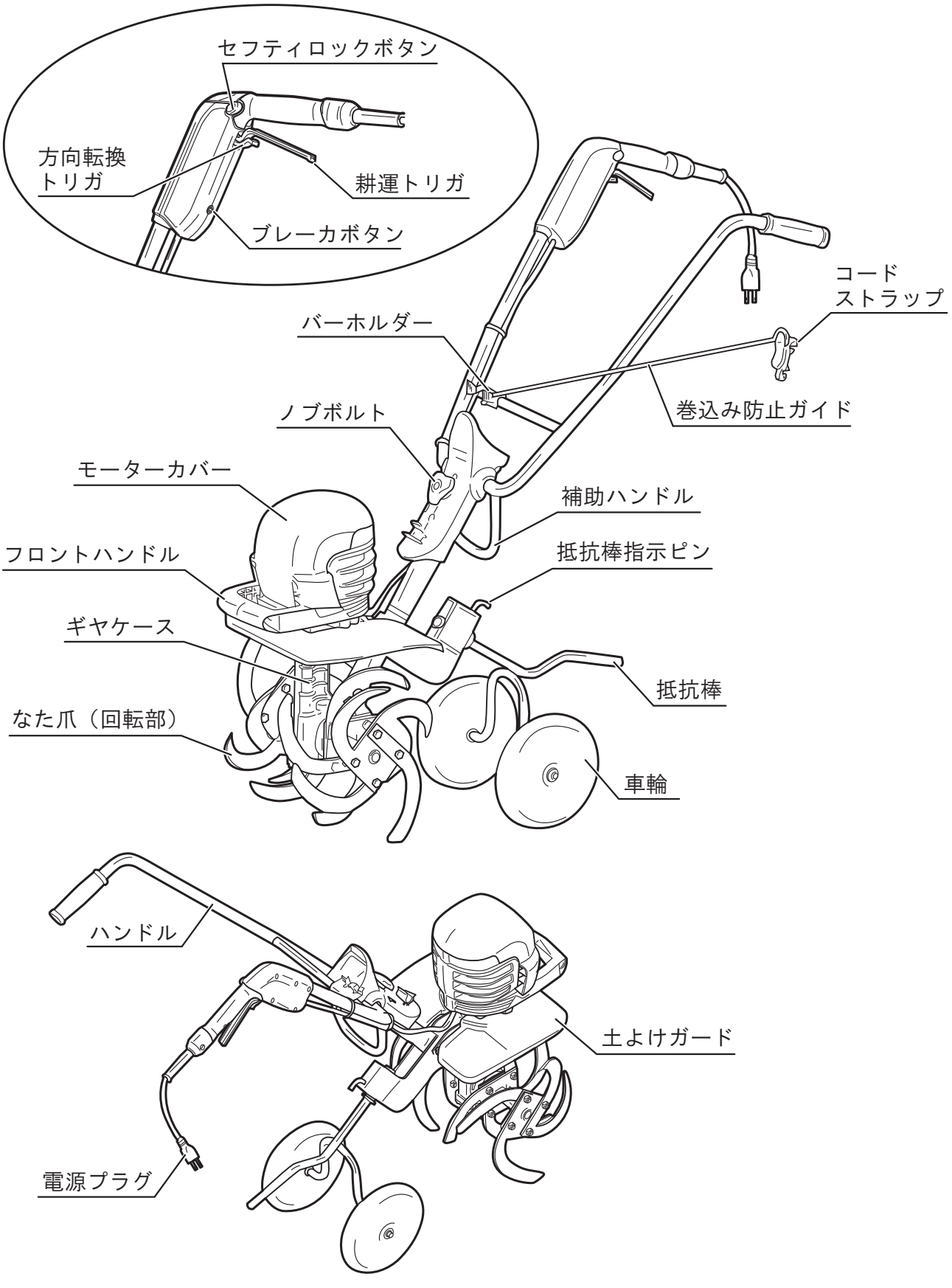
・ ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
・ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。

（貼付け位置）



主要機能・名称

■各部の名称



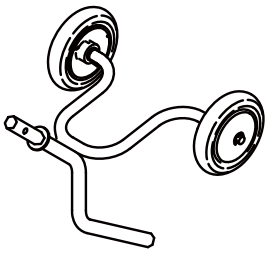
仕様・付属品・用途

■仕様

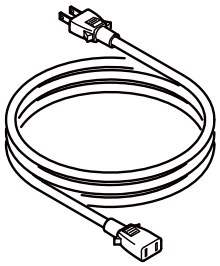
- 電源…… 単相・交流 100V 50/60 Hz
- 定格電流…… 15 A
- 消費電力…… 1,400 W
- 無負荷回転数…… （耕うん時）150 min^{-1}
  （方向転換時）125 min^{-1}
- 最大耕うん幅…… 360 mm
- 最大耕深…… 280 mm
- 最大トルク…… 90N・m
- 操作…… 両手ハンドル、折りたたみ式
- 刃形……なた爪　4 枚刃（外径）280mm
- 本体寸法（長さ×幅×高さ）…… 1,050 × 480 × 965 mm
  （※740 × 480 × 570 mm）
- コード長さ …… 0.36 m
- 質量…… 18.5 kg
- 絶縁方式…… 二重絶縁

※本体寸法の（　）内は、収納時（抵抗棒・車輪組立取外し、ハンドル折りたたみ）寸法です。

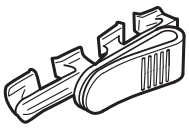
■付属品



抵抗棒・車輪組立 …… 1



延長コード 10m …… 2



コードストラップ …… 1
（ベルトフック付）

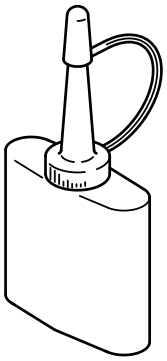
巻込み防止ガイド …… 1

■用途

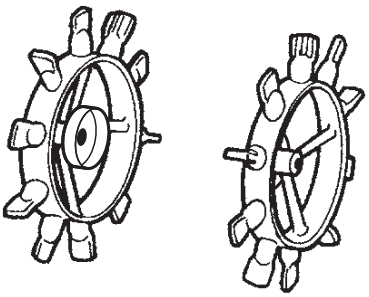
・耕うん、中耕、培土、除草作業

別販売品

ギヤオイル（100ml）

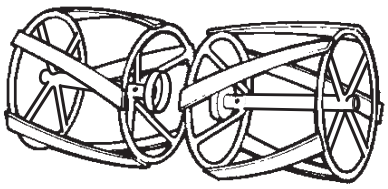


中耕車輪（P25 参照）
・用途 …… 中耕、培土作業時のけん引



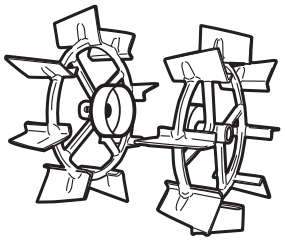
・外径 …… 290mm
・リム径 …… 206mm
・リム幅 …… 38mm
・耕幅 …… 132mm

スパイラルロータ（P26 参照）
・用途 …… 除草作業



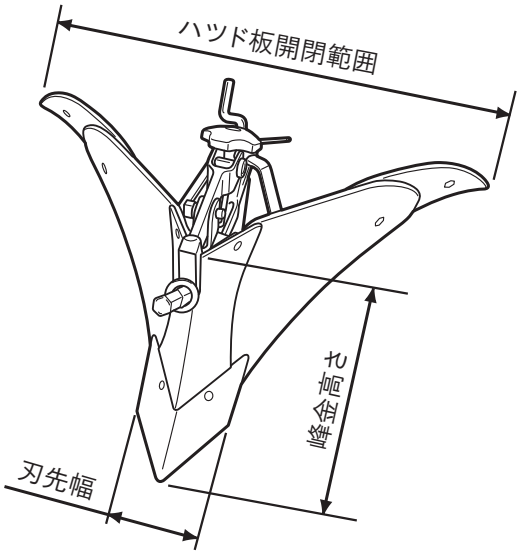
・外径 ……250mm
・幅 …… 230mm
・刃数 …… 5 枚
・作業幅 ……507mm

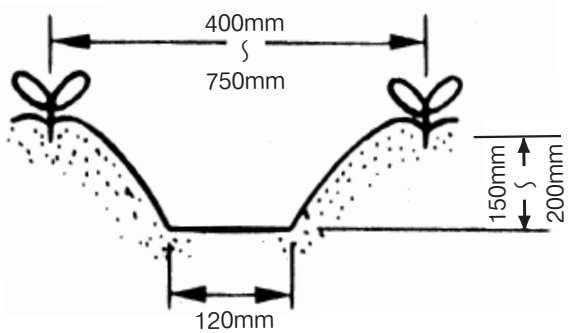
培土けん引車輪（P25 参照）
・用途 …… 中耕、培土作業時のけん引
（中耕車輪よりけん引力が大きくなります）



・外径 …… 270mm
・リム径 ……180mm
・ラグ数 …… 8 枚
・ラグ幅 …… 74mm
・車輪取付幅 …… 218mm

培土器（P27 参照）
・用途 …… うね立、培土作業





・峰金高さ …… 215mm
・刃先幅 ……120mm
・ハツド板開閉範囲 …… 460 ～ 700mm

準　備

■ご使用前の準備

●作業場に関して

・作業を始める前に現場の状況（地形、傷害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な傷害物は除去してください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて

⚠ 警　告

必ず守る

・延長コードは損傷のないものを用意してください。

・付属品の延長コード（10m：２本）では電源からの距離が遠く、長さが足りない場合には別の延長コードを用意してください。

・延長コードの最大長さは、付属品の延長コードを含み、コードの太さが 1.25mm^2 以上のもので 30m 以内で使用してください。

⚠

・市販の延長コードを使用する場合は、機械の性能を十分に発揮させるため電流を流すのに十分な太さで、できる限り短いコードを使用してください。
長すぎる延長コードは電圧降下により、十分な性能が発揮されないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。
・ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

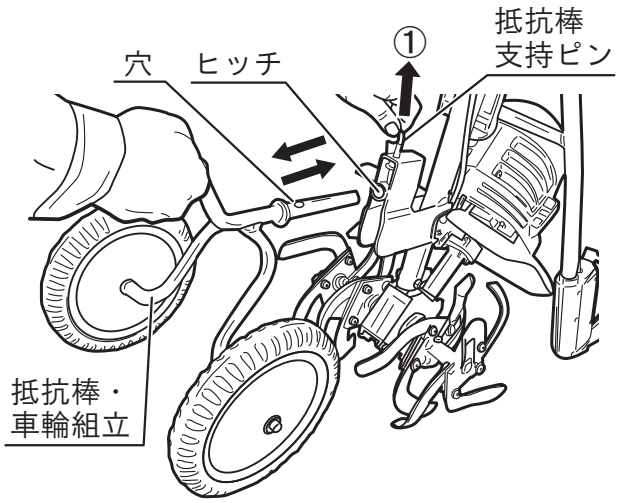
準　備

■抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し

●取付け

1. 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、抵抗棒・車輪組立をヒッチにさし込みます。

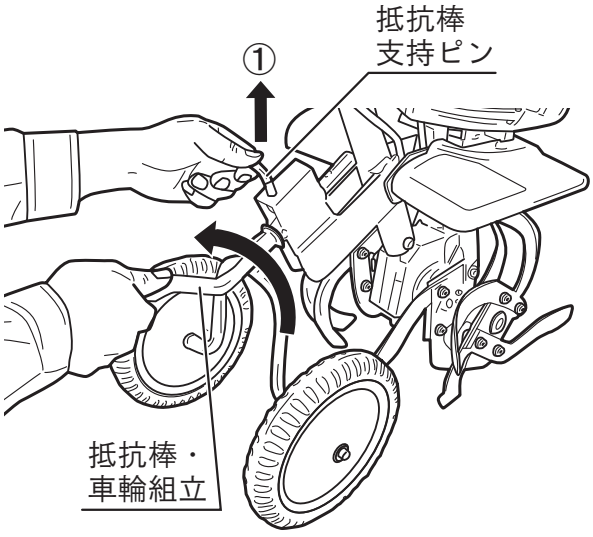
2. 抵抗棒・車輪組立の穴に抵抗棒支持ピンが入るように合わせ、抵抗棒支持ピンを放し固定します。



> ⚠
>
> 抵抗棒・車輪組立が引っ張って抜けないことを確認してください。

●取外し

・ 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、ヒッチより抵抗棒・車輪組立を取外します。

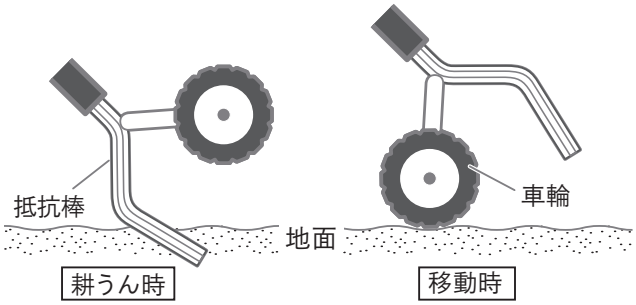


●抵抗棒と車輪の切換え

・ 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、抵抗棒・車輪組立を回転させ、抵抗棒支持ピンを放し固定します。

※ 抵抗棒・車輪組立をさし込んだ状態で回転できます。

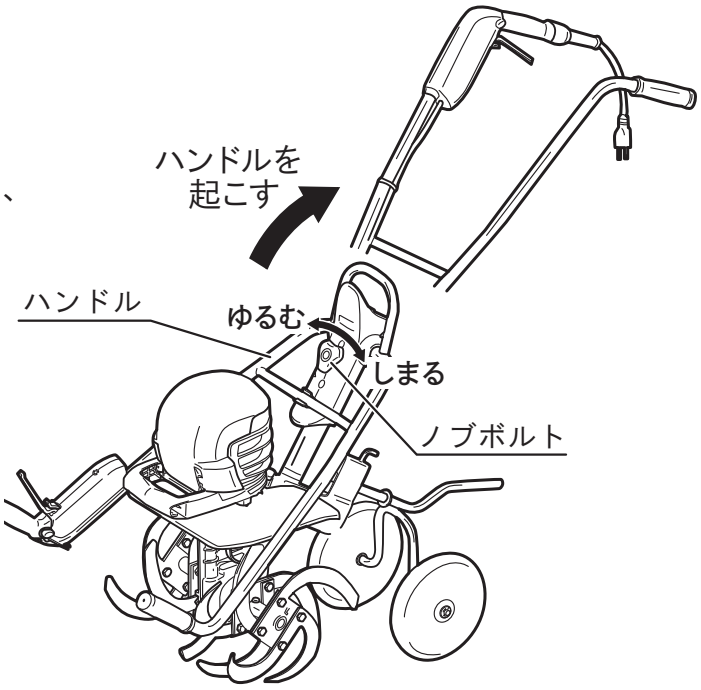
> ⚠
>
> 耕うん時は、抵抗棒を地面側にしてください。
> 移動時は、車輪を地面側にしてください。



■ハンドル

1. ハンドルを矢印方向に起こします。

2. ノブボルトを「しまる」の方向に回し、ハンドルを締付けて固定します。



⚠

ノブボルトは、ゆるみ防止のため、スプリング付となっています。
作業中、ハンドルがガタつかないようにしっかりと締付けてください。

■電源コードの接続

⚠ 警　告

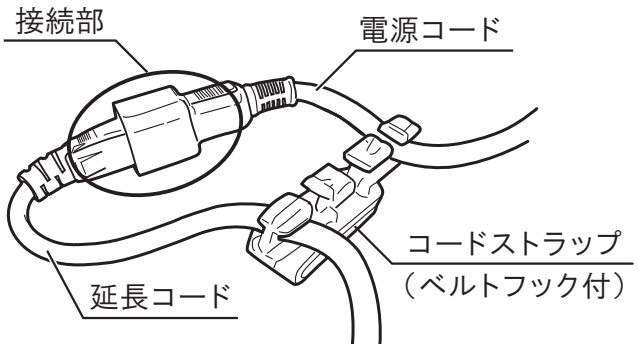
必ず守る

・電源コードを接続する前にスイッチが切れていること、延長コードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

●巻込み防止ガイドを使用しない場合

1. 本体の電源コードを延長コードに接続します。
   ・電源コード、延長コードを右図のようにコードストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。
   ※ 市販の延長コードは、太さによってはコードストラップを使用できないことがあります。

2. 接続部を確実に接続してから、延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込みます。



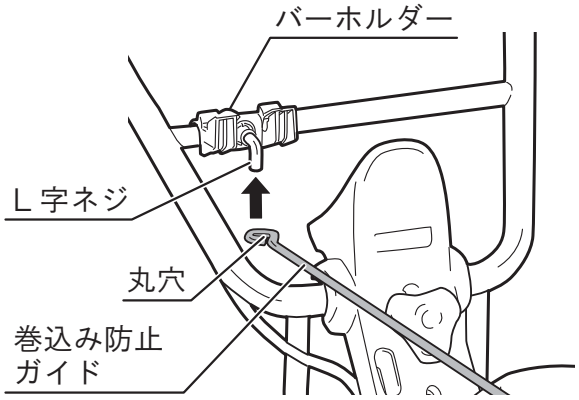
準　備

●巻込み防止ガイドを使用する場合

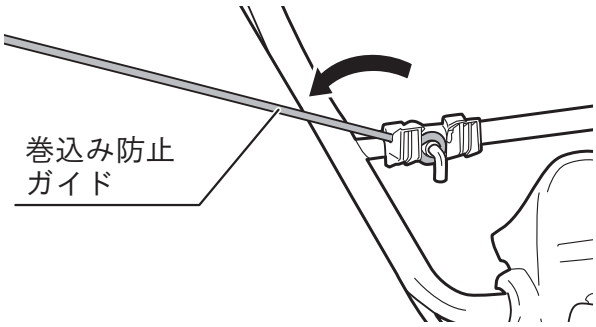
・巻込み防止ガイドを使用すると、本体から延長コードを離れたところに置くことができます。なた爪への巻込みやコードの切断防止になります。

（巻込み防止ガイドの取付け）

1. バーホルダーのＬ字ネジに巻込み防止ガイドの丸穴を通します。

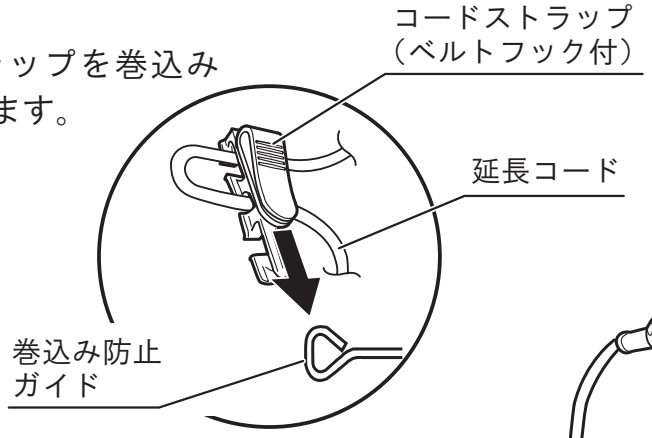


2. 巻込み防止ガイドを矢印方向に倒します。
※ 巻込み防止ガイドは、左右に倒せます。

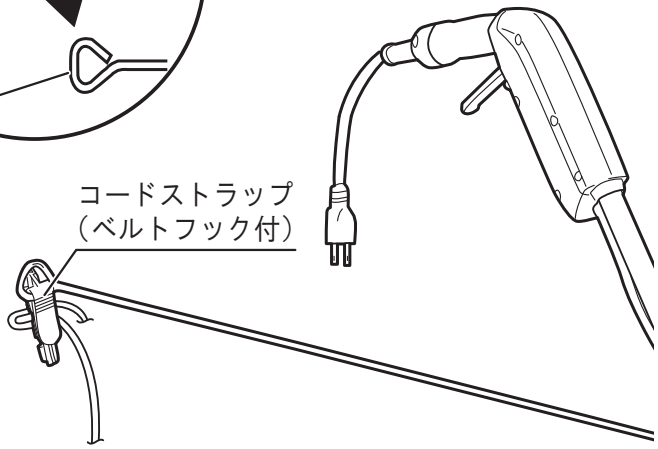


（延長コードの取付け）

1. 延長コードにコードストラップを取付けます。
・延長コードのソケット側から約 1.5m の位置にコードストラップを取付けてください。
2. 右図のようにコードストラップを巻込み防止ガイドの先端に取付けます。



3. 本体の電源コードを延長コードに接続します。



■ご使用前の点検

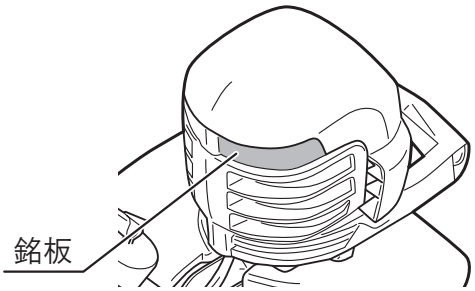
⚠ 警　告

点検・確認

・ご使用前に次のことを確認してください。
❶～❸項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
・電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

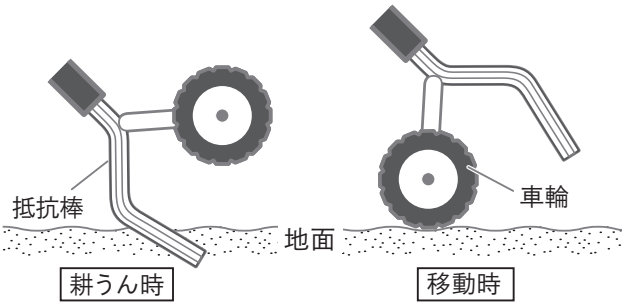
❶電源を確かめます

・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本体が破損するおそれがあります。



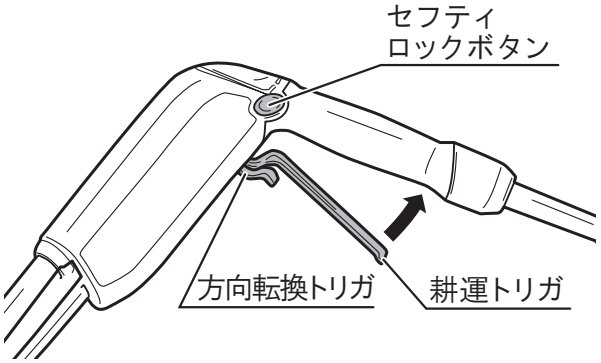
❷抵抗棒・車輪組立の位置確認

・耕うん時は、抵抗棒を地面側にしてください。
・移動時は、車輪を地面側にしてください。



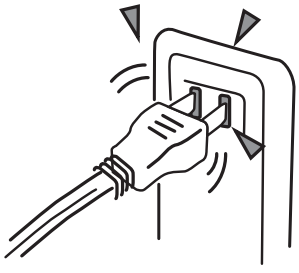
❸スイッチ操作について

・スイッチは、セフティロックボタンを押えた状態で耕運トリガ（方向転換トリガ）を引くと入ります。
耕運トリガ（方向転換トリガ）を放すと切れます。耕運トリガ（方向転換トリガ）を放したとき、耕運トリガ（方向転換トリガ）が戻ることを必ず確認してください。



❹電源コンセントを確かめます

・電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。



使い方

■スイッチの扱い方

⚠ 警　告

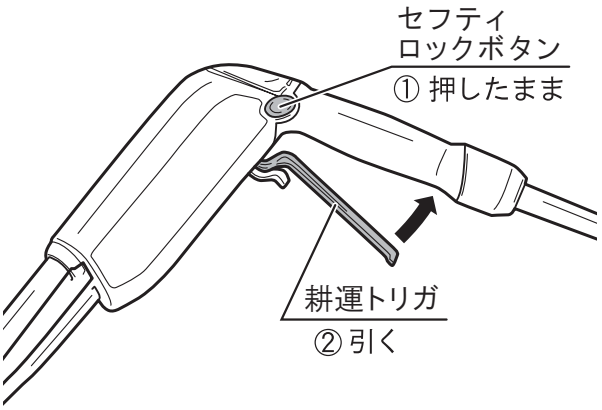
必ず守る

- **使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速になり、本体が損傷するおそれがあります。**
- **セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。**

・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。

・セフティロックボタンを押さえた状態で耕運トリガを引くとスイッチが入り、なた爪が回転します。

・耕運トリガを放すとスイッチは切れます。

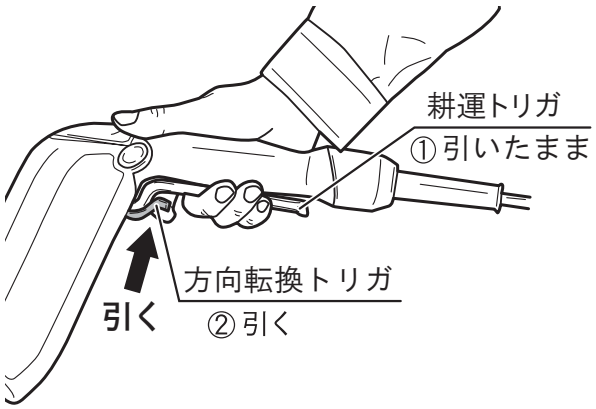


（方向転換トリガ）

・方向転換や畑を移動するときに使用します。

・耕運トリガを引いた状態で、方向転換トリガを引くと低速回転となります。

・方向転換トリガを放すと通常の回転に切換わります。

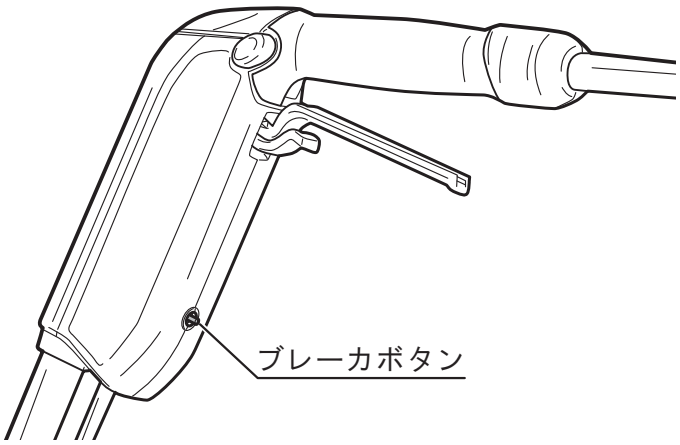


⚠

方向転換トリガを引いた状態で耕うん作業しないでください。モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

■過負荷保護装置（ブレーカ）について

・使用中、モーターに負荷がかかり過ぎると過負荷保護装置（ブレーカ）が働き電源が切れます。
・作業を再開する場合は、必ず電源プラグを抜き、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカボタンを押してください。



■耕うん作業

⚠ 警　告

必ず守る

- スイッチを入れるときは、周囲に人、動物、障害物がないか確認し、本機をしっかりと保持してください。
- スイッチを入れるときは、なた爪（回転部）の前に立たないでください。けがの原因になります。
- スイッチを入れると同時になた爪（回転部）が回転しますので、安全を十分に確かめてから始動してください。
- セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
- 作業中は、進行方向に人や動物がいないこと、電源コードがないことを十分確認してください。
- 作業中は、なた爪（回転部）に手足や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- 無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。
  作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
- 作業中、なた爪（回転部）を石や硬いものに当てないようにしてください。なた爪が破損し、破片が飛散して、けがの原因になります。
- なた爪（回転部）が延長コードの上を通ったり、延長コードがなた爪に巻付いたりしないようにしてください。延長コードが破損、切断され、感電のおそれがあります。
- なた爪（回転部）に草などが巻付いたときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、なた爪の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
- 万一、延長コードを切断した場合は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、新しいコードと交換してください。感電のおそれがあります。

使い方

⚠ 注　意

よく読む

・付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。

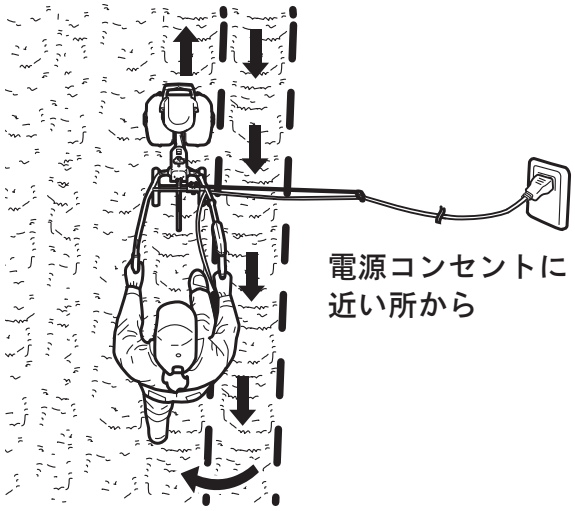
（作業手順）

1. 電源プラグを電源コンセントにさし込む。
2. スイッチを入れる。（スイッチの扱い方　21 ページ参照）
3. 作業する。（耕うん作業　22 ～ 24 ページ参照）
4. 作業が終わったらスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●電源コンセントに近い方から

・耕うんは、電源コンセントに近い所から行なってください。
・余分なコードは作業が終わった所をはわせてください。

⚠ 本体が延長コードの上を通ったりして、コードを本体下部へ巻込まないようにしてください。



●基本的な作業

・ハンドルを両手でしっかり握り、移動が安全で容易な体勢で作業をします。
・スイッチ操作を行なえば、なた爪（回転部）が回転し、耕うん作業が行なえます。
・土を深く掘る場合は、ゆっくり移動させながら作業を行なうと、容易にできます。

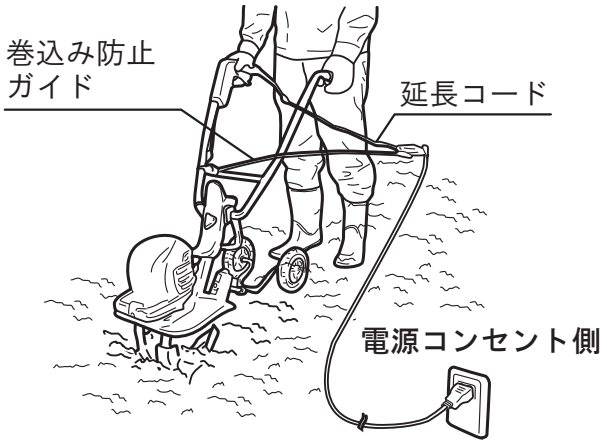
●抵抗棒の使用

・ハンドルを下前方に少し押さえるようにして、抵抗棒に抵抗をかけながら作業をしてください。
・ハンドルを下に押さえ過ぎるとなた爪（回転部）が地面から浮いたり、引上げ過ぎると本機が飛出したりしますので、加減しながら作業をしてください。

●巻込み防止ガイドの使用

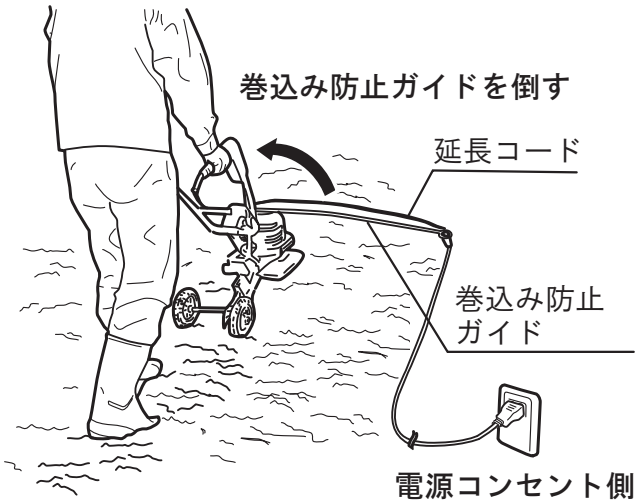
・巻込み防止ガイドを使用すると、本体から延長コードを離れたところに置くことができます。なた爪への巻込みやコードの切断防止になります。

・電源コンセント側に巻込み防止ガイドを倒して作業します。



（本体を方向転換させて作業する場合）

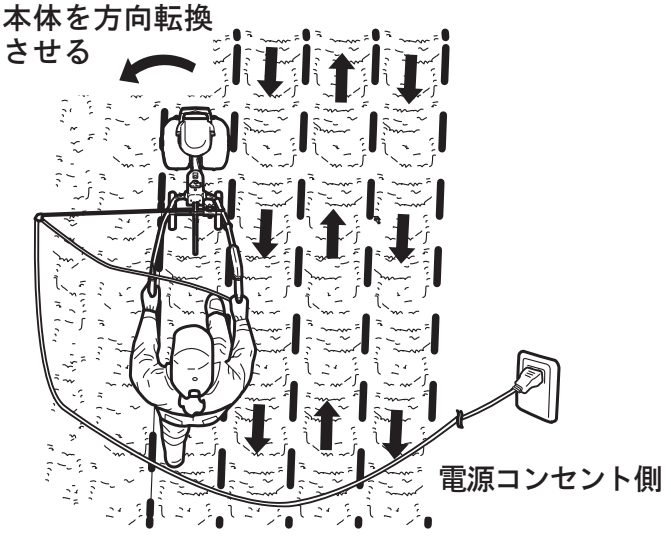
1. 本体を停止させます。
2. 巻込み防止ガイドを矢印方向（電源コンセントの反対側）へ倒します。



⚠

本体を方向転換させる前に巻込み防止ガイドを電源コンセントの反対側へ倒してください。

3. ハンドルを引上げます。
   ・抵抗棒を地面から抜きます。
4. 方向転換トリガを引き、矢印方向に本体を転換させます。



⚠

・本体にコードが巻込まないように注意して転換させてください。
・耕うん作業は、巻込み防止ガイドを電源コンセント側に向けて作業してください。

別販売品について

・ギヤケースには、運転者側から見て、左側に「L」, 右側に「R」の刻印が打ってあります。（「なた爪の取付け、取外し」28 , 29 ページ参照）

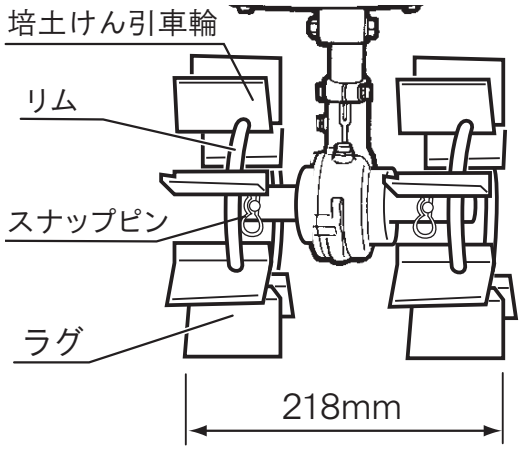
培土けん引車輪、スパイラルロータについては、「右」,「左」の表示と向きに注意して取付けてください。

■培土けん引車輪

中耕、培土作業を行なうときに培土けん引車輪を使用します。

・ なた爪（回転部）を取外し、培土けん引車輪を図のような方向に取付けてください。

※ 中耕、培土を同時に行なう場合は、別販売品の培土器を併用して作業を行なってください。（培土器については、27 ページをお読みください。）



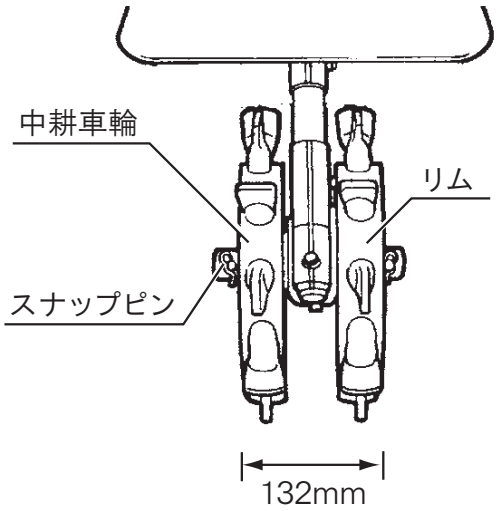
⚠ なた爪の取付け取外しは、28 , 29 ページをお読みください。

■中耕車輪

中耕、培土作業を行なうときに中耕車輪を使用します。

・ なた爪（回転部）を取外し、中耕車輪を取付けてください。

※ 中耕、培土を同時に行なう場合は、別販売品の培土器を併用して作業を行なってください。（培土器については、27 ページをお読みください。）

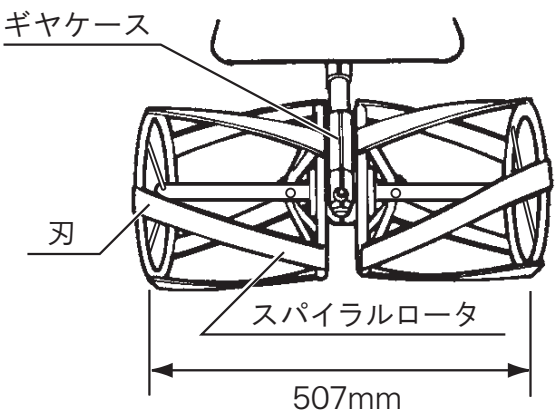


⚠ なた爪の取付け取外しは、28 , 29 ページをお読みください。

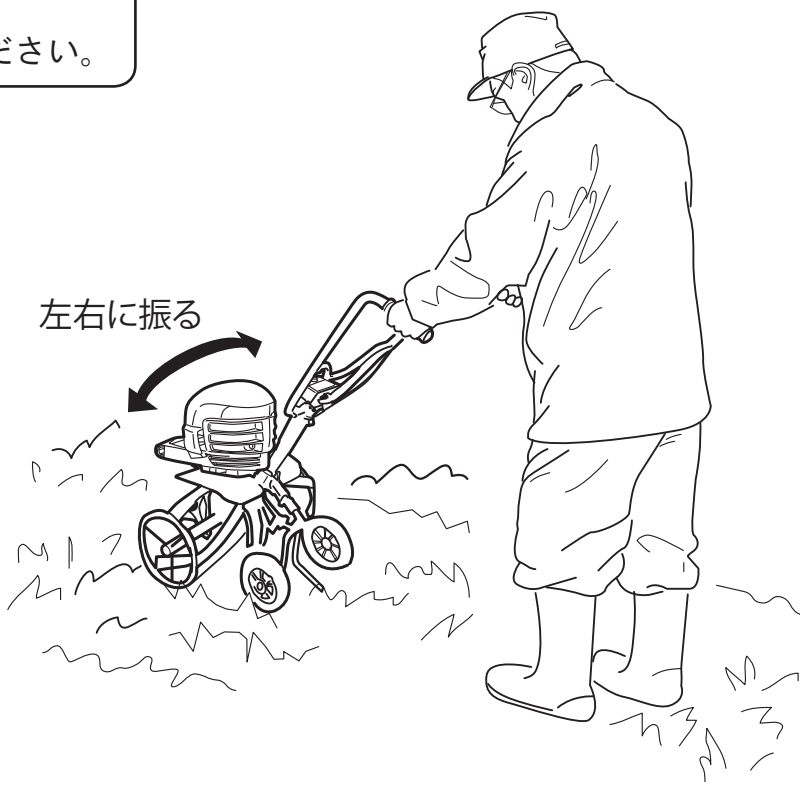
■スパイラルロータ

除草作業を行なうときにスパイラルロータを使用します。

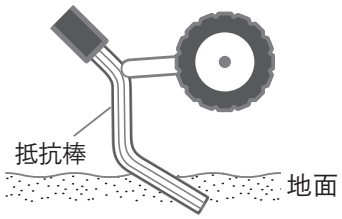
・なた爪（回転部）を取外し、スパイラルロータを図のような方向に取付けてください。
・作業は、ギヤケース部分の刈り残しがないように本体を多少左右に振りながら行なうと効率よく行なえます。



なた爪の取付け取外しは、
28 , 29 ページをお読みください。



抵抗棒は、地面側に向けてください。



別販売品について

■培土器

うね立、培土作業を行なうときに培土器を使用します。

1. 抵抗棒を取外します。
（17 ページ「抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し」参照）

2. 培土器のシカンを本体のヒッチにさし込みます。
（17 ページ「抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し」と同様に取付けます）

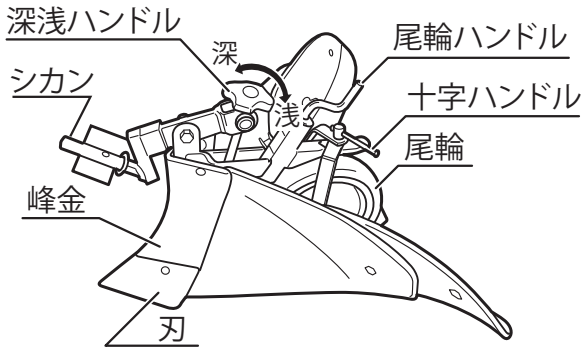
3. 深浅ハンドルを回し、培土器が地面と水平になるようにセットします。

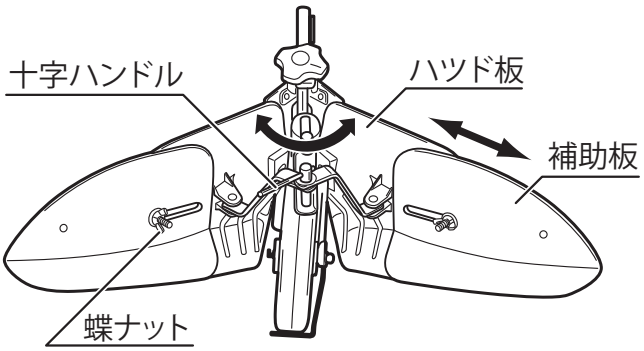
4. うね立てを行ない、うねが浅いときは深浅ハンドルを「深」方向に、深すぎるときは「浅」方向に回し作りたいうね高さに調整します。

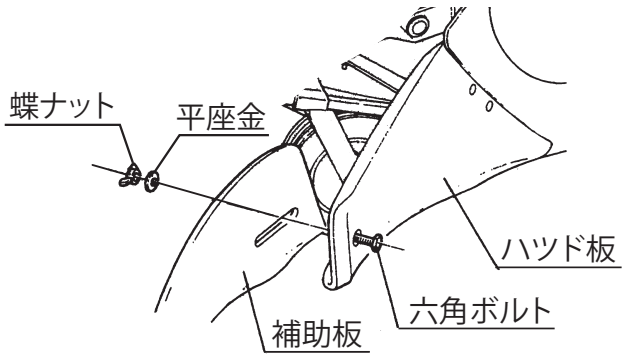
5. うねの間隔は、培土器の十字ハンドルをゆるめ、ハツド板の開閉を行ない調整します。

※ 蝶ナットをゆるめ、補助板を前後に動かしても調整できます。

6. うね高さ、間隔がほぼ調整できましたら、尾輪が地面に当たるように尾輪ハンドルを調整します。







⚠

・うね間の中耕、培土を同時に行なう場合、および狭いうね間を培土する場合は、培土けん引車輪や中耕車輪を併用して作業をしてください。
・粘土質の田畑などでは使用しないでください。モーターに負担がかかり故障の原因になります。

保守と点検

⚠ 警　告

・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

お買い上げいただきました電気カルチベータを、いつまでも調子よく保つため、定期点検を行なってください。

点検時間 / 点検項目	作業前点検	30 時間毎（または年１回）
なた爪（回転部）	○	
ギヤケース		○（ギヤオイル交換）

※ほこりの多い作業の場合、１回の作業毎に清掃してください。

■なた爪の取付け、取外し

⚠ 警　告

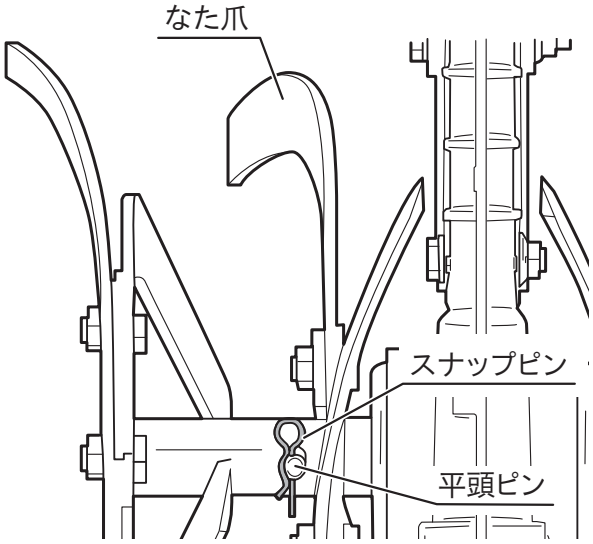
・なた爪の取付け、取外しの際は、爪先にウエスなどを巻付け、手袋を着用してください。けがの原因になります。
・なた爪が確実に取付けられていることを確認してください。事故やけがの原因になります。

・使用後は汚れを取除き、破損、異常がないことを点検してください。
・なた爪に石などの異物が挟まったり、草などが絡み取れなくなったときは、なた爪を取外し、これらのものを除去してください。異常がないかどうかも点検してください。
・運転中は、絶対になた爪（回転部）に触れないでください。

保守と点検

（取外し）

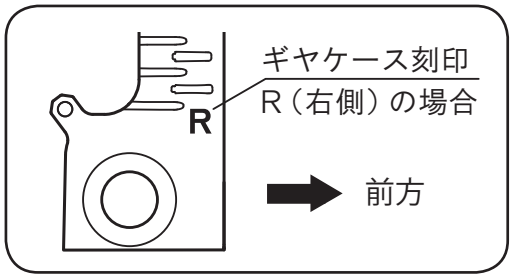
・お手持ちのペンチなどでスナップピンをつかみ、引っ張って取外し、平頭ピンを抜きます。平頭ピンを抜くと、なた爪は簡単に外せます。



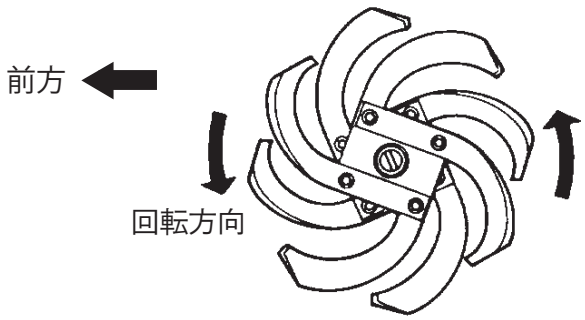
（取付け）

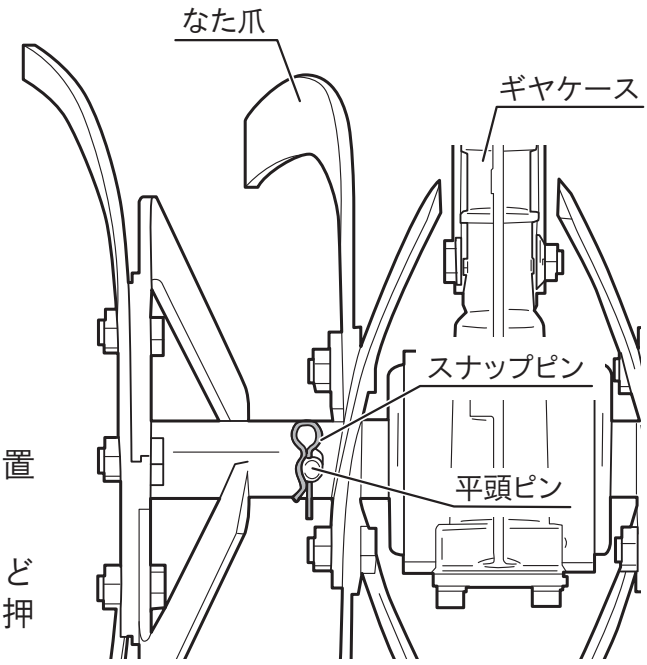
・ギヤケースには、運転者側から見て、左側に「L」，右側に「R」の刻印が打ってあります。

・なた爪の「L」，「R」の表示と回転方向に注意して、元の状態に組付けます。



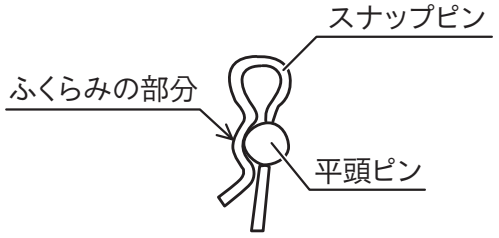
（なた爪回転方向）





1. なた爪を回転軸に入れ、平頭ピン用の穴位置を合わせてください。
2. 穴に平頭ピンを通し、お手持ちのペンチなどでスナップピンをつかみ、平頭ピンの穴に押込んでください。

⚠ スナップピンは、確実にふくらみの部分まで入っていることを確認してください。



■ギヤオイルの交換

・実働 30 時間、または年 1 回を目安にギヤオイルを交換してください。
オイルは、リョービ指定のギヤオイルを使用してください。(15 ページ「別販売品」参照)

⚠ 注　意

必ず守る

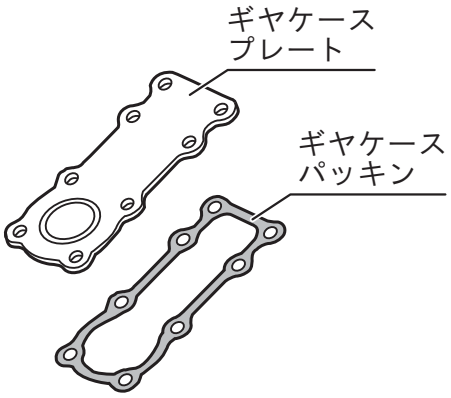
・ギヤオイルは、オイルシールやパッキンなどの経年劣化で微量にもれることがあります。ギヤオイルが多量にもれるとギヤ破損の原因になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

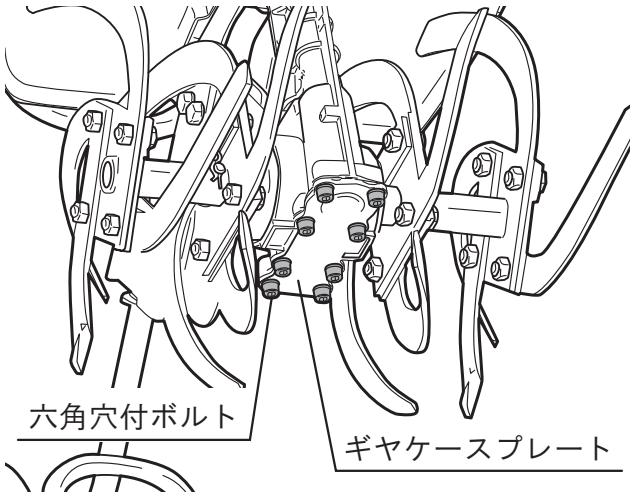
・ギヤオイルは、リョービ指定のギヤオイルを使用してください。

(オイルの交換手順)

1. ギヤケースプレート周りを清掃します。
※ ギヤケースプレート、六角穴付ボルトの土など異物を取除いてください。

2. お手持ちの六角棒レンチなどで六角穴付ボルトをゆるめてギヤケースプレートを取外し、古いオイルを抜いてください。

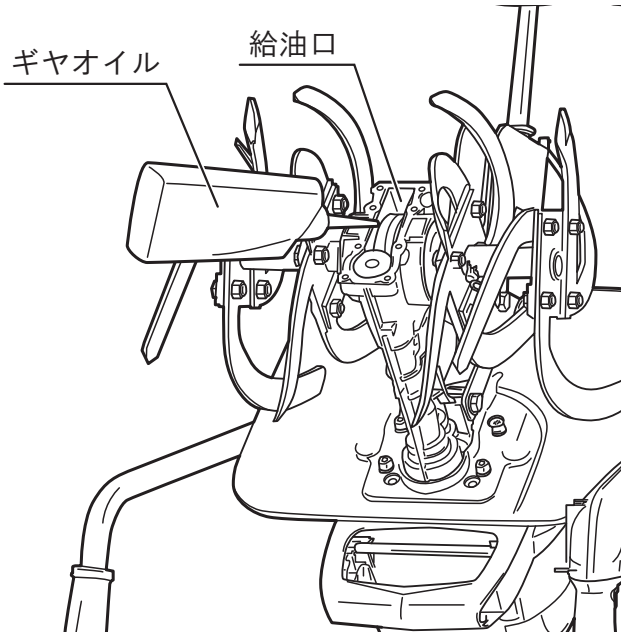




3. オイルの抜取りを十分行なった後、本機を裏返し、リョービ指定のギヤオイルを約 60ml 給油してください。

⚠

・ギヤケースパッキンに傷などがある場合は、新品と交換し、六角穴付ボルトをしっかり締付けてください。

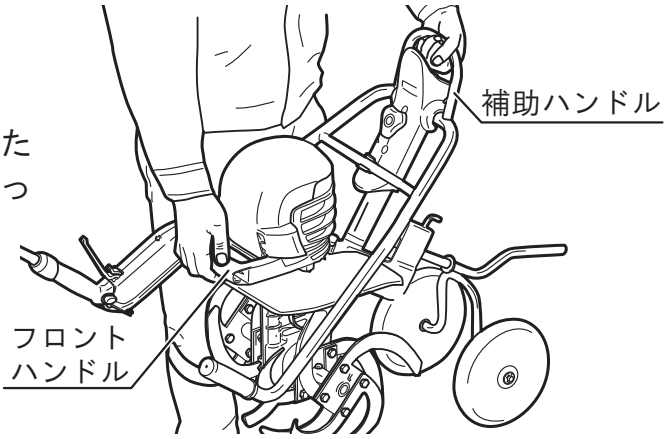


保守と点検

■運搬

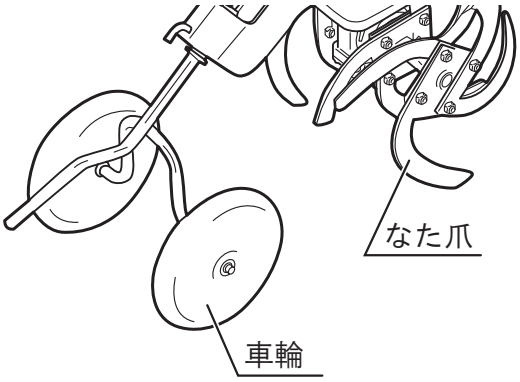
●持運び

・本機を持運ぶ場合は、ハンドルを折りたたみ、フロントハンドルと補助ハンドルを持ってください。



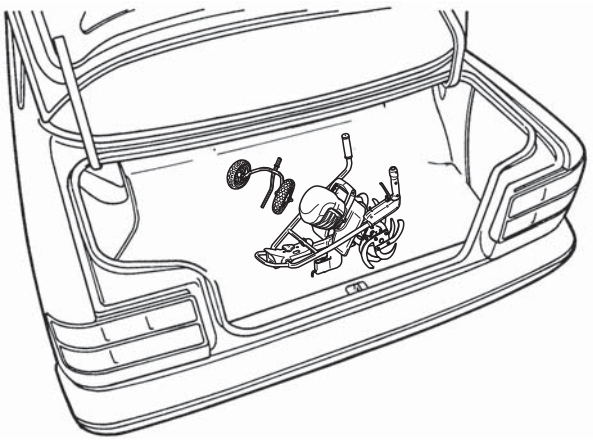
●移動

・本機を移動するときは、車輪を地面側にし、なた爪（回転部）を浮かせて押し進んでください。



●車載

・ 本機から抵抗棒・車輪組立を外して、車のトランクに載せてください。このとき、本機が倒れないように、あて木、ロープなどで固定してください。



⚠

・車の種類によっては、積載できないことがあります。
・車内の汚れ防止のため、ビニールシートなどの使用をおすすめします。

■各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

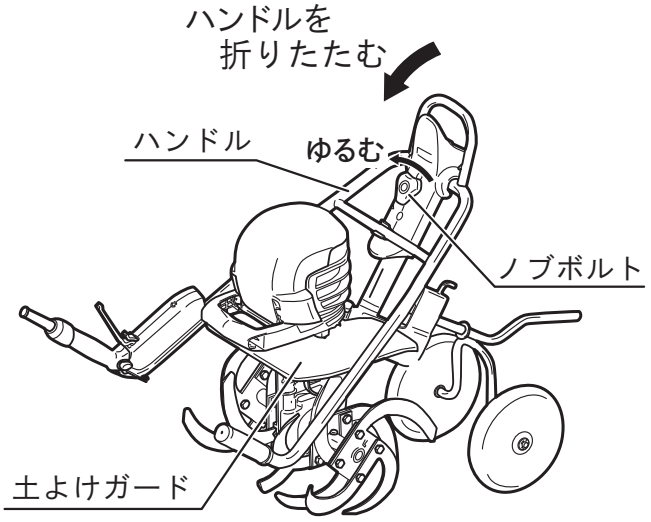
・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためますので、使用しないでください。

■なた爪（回転部）の手入れ

・なた爪（回転部）は常に手入れをしてください。
・なた爪（回転部）を水洗いする場合は、土よけガードより上に水がかからないようにしてください。
※ なた爪を取外して、取付部（軸受部）に直接高圧水をかけないでください。オイルシールの破損による故障の原因になります。
・水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷するおそれがあります。

■作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
・ハンドルを折りたたむと、コンパクトに収納できます。



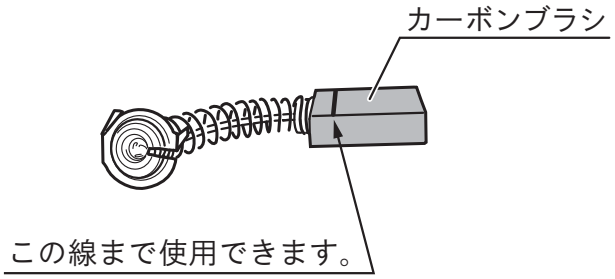
■修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

保守と点検

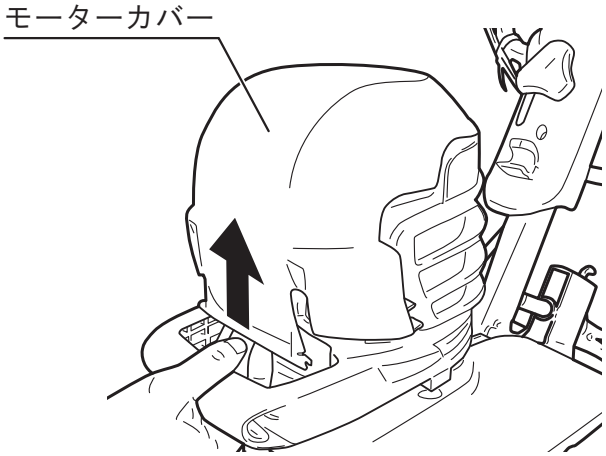
■カーボンブラシについて

・本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。



（カーボンブラシの交換）

1. モーターカバーを少し手前に引いた後、矢印の方向に引上げ、取外します。



2. ブラシキャップをお手持ちの⊖ドライバで取外し、カーボンブラシを取出します。

3. カーボンブラシを交換します。
   カーボンブラシは２個１セットです。
   交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、２個とも同時に交換してください。

4. ブラシキャップ、モーターカバーを取外し手順と逆の要領で取付けてください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置
スイッチを入れても なた爪が回らない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。
	延長コードがはずれていませんか。	延長コードと電源プラグを接続してください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品でお確かめください。
	セフティロックボタンが押されていますか。	セフティロックボタンを押さえた状態で、耕運トリガを引いてください。
	本機の過負荷保護装置（ブレーカ）が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカボタンを押して解除してください。
	なた爪（回転部）取付け用の平頭ピン、スナップピンがはずれていませんか。	平頭ピンとスナップピンを確実に取付けてください。
作業中に突然停止した。	以下の原因により、本機の過負荷保護装置（ブレーカ）が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカボタンを押して解除してください。
	①耕うんが深すぎませんか。	耕うんの深さを浅くしてください。
	②なた爪（回転部）に石などの異物が挟まっていませんか。または、草などが巻付いていませんか。	スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから異物などを取除いてください。
作業中に急に音が変わっり、振動が大きくなった。	なた爪（回転部）に草などが巻付いていませんか。	スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから草などを取除いてください。
	なた爪（回転部）が欠けたり、変形していませんか。	新しいなた爪に交換してください。

※これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

RYOBI

持込修理

電気カルチベータ　　保証書

リョービ 電気カルチベータをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

モデル名		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話　　（　　）	
お買い上げ日		保証期間（お買い上げ日より）
平成　　年　　月　　日		1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

レシート貼付

リョービ販売株式会社
〒468-8512
愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052) 806 - 5111

リョービ株式会社

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2. ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引越し、輸送などによる故障または損傷。
   （ハ）業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   （ヘ）付属品、別販売品や消耗品類の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only for Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

■修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様､外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社
本　社　〒468-8512 愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
Tel. (052)806-5111 Fax. (052) 806-5141
http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/